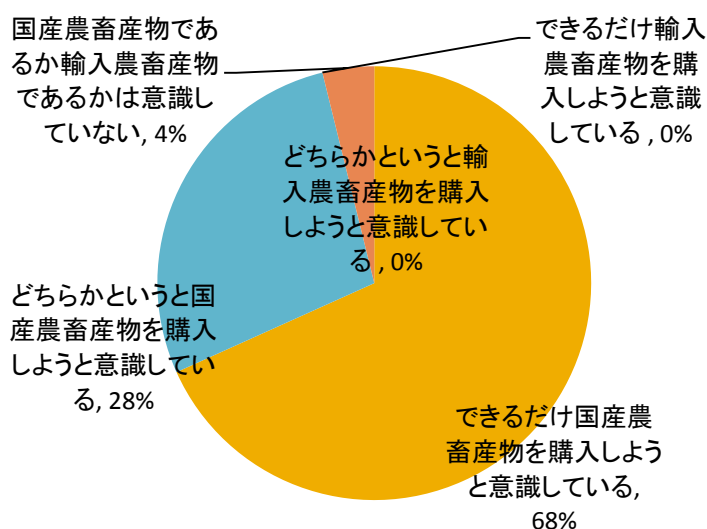


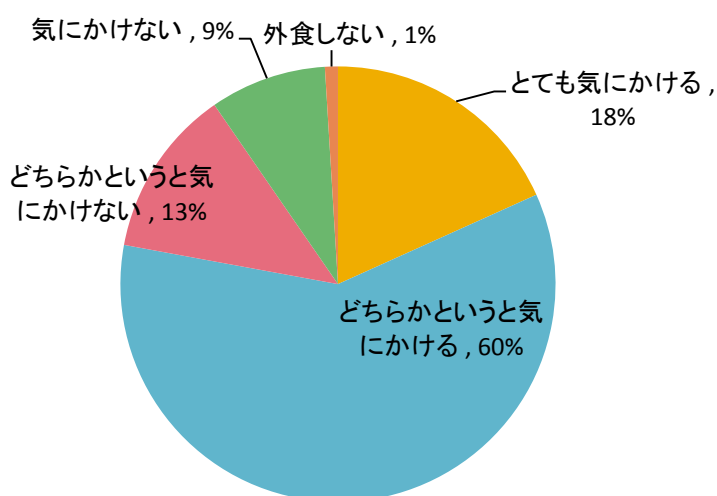
◆問1 あなたは、農畜産物を購入するときに、国産品と輸入品をどの程度意識していますか。

「できるだけ国産農畜産物を購入しよう」と意識している」が 68%、「どちらかという」と意識している」が 28%と、ほぼ 100%の人が国産を意識して購入しています。Apron 誌の読者は日ごろから産地や料理に関心が高いと思われますが、原産地が表示されていれば、国産品を選びたいということがあらわれています。



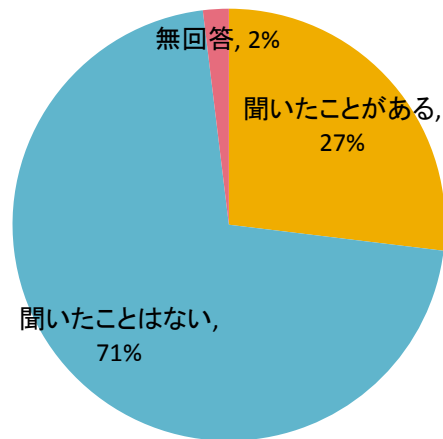
◆問2 あなたは外食をするときに国産品かどうかを気にしますか。

「とても気にかける」が 18%、「どちらかという」と気にかける」が 60%と 78%の人が外食のときも国産かどうか気にかけています。



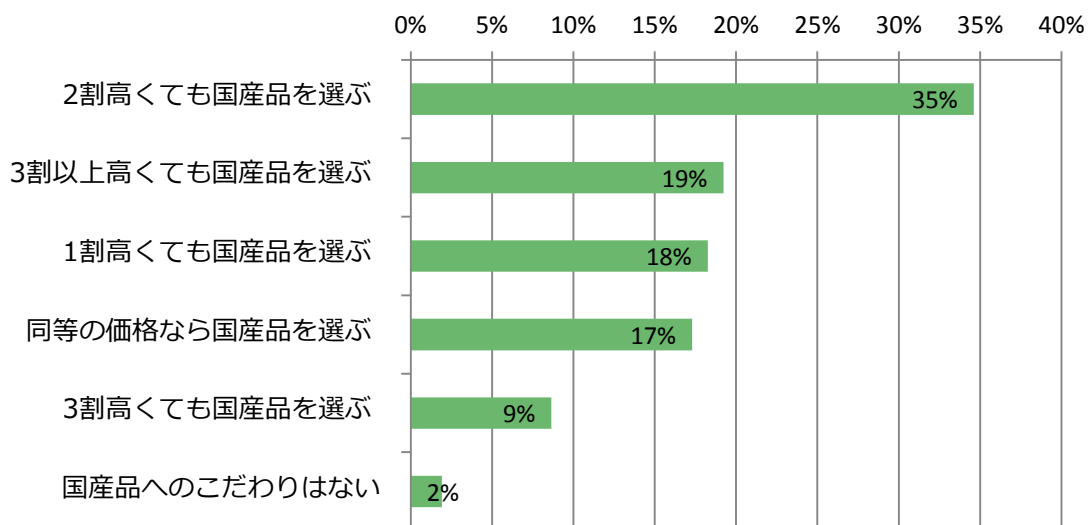
◆問3 あなたは外食をしたときに食材の原産地がどこなのか、聞いたことがありますか。

「聞いたことがある」が27%、「聞いたことはない」71%と、聞かない人が7割を超えています。買物では国産品を選びたい、外食でも国産品を気にかける人であっても、いざ食事をするときには原産地を聞いたことがない人が多いようです。



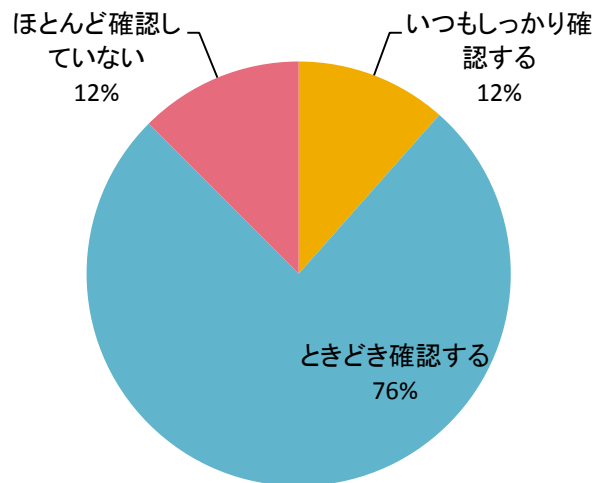
◆問4 国産の豚肉を購入するときに、輸入豚肉と比べていくらまでなら値段が高くても購入しますか。

一番多いのが「2割高くても国産品を選ぶ」35%、次いで「3割以上高くても国産品を選ぶ」19%、「1割高くても国産品を選ぶ」18%、「同等の価格なら国産品を選ぶ」17%、「3割高くても国産品を選ぶ」9%など、80%を超える人が輸入豚肉より国産品が高くても国産の豚肉を選ぶという回答でした。



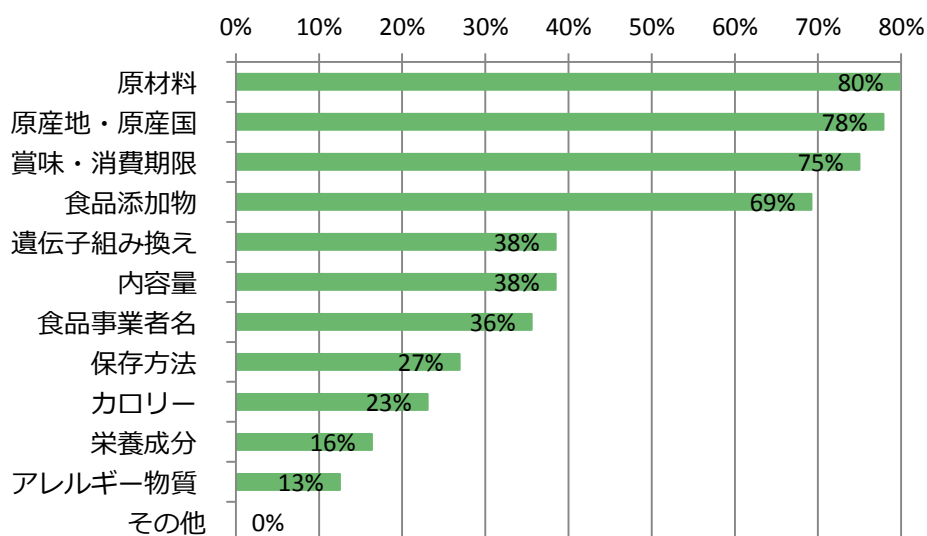
◆問 5 あなたは、加工食品を購入するときに、表示されている情報（価格以外）を確認していますか。

「いつもしっかり確認する」12%、「ときどき確認する」76%、「ほとんど確認していない」が12%と、確認する人が88%でした。



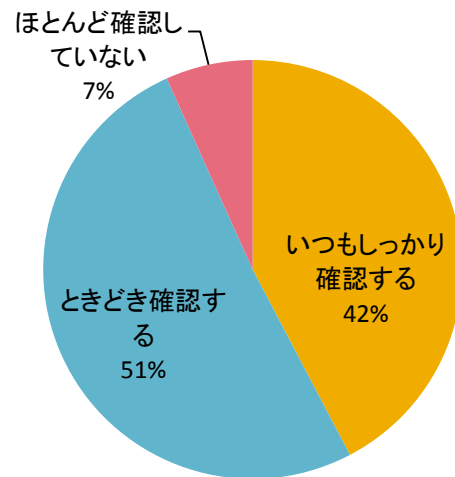
◆問 6 あなたは、加工食品を購入するときに、表示されている情報の何を確認しますか（複数回答）。

「原材料」80%、「原産地・原産国」78%、「賞味・消費期限」75%、「食品添加物」69%、「遺伝子組み換え」と「内容量」が38%、「食品事業者名」36%、「保存方法」27%などの順となり、加工食品で消費者が一番知りたいことは「原材料」、次いで食材の「原産地・原産国」ということがわかりました。



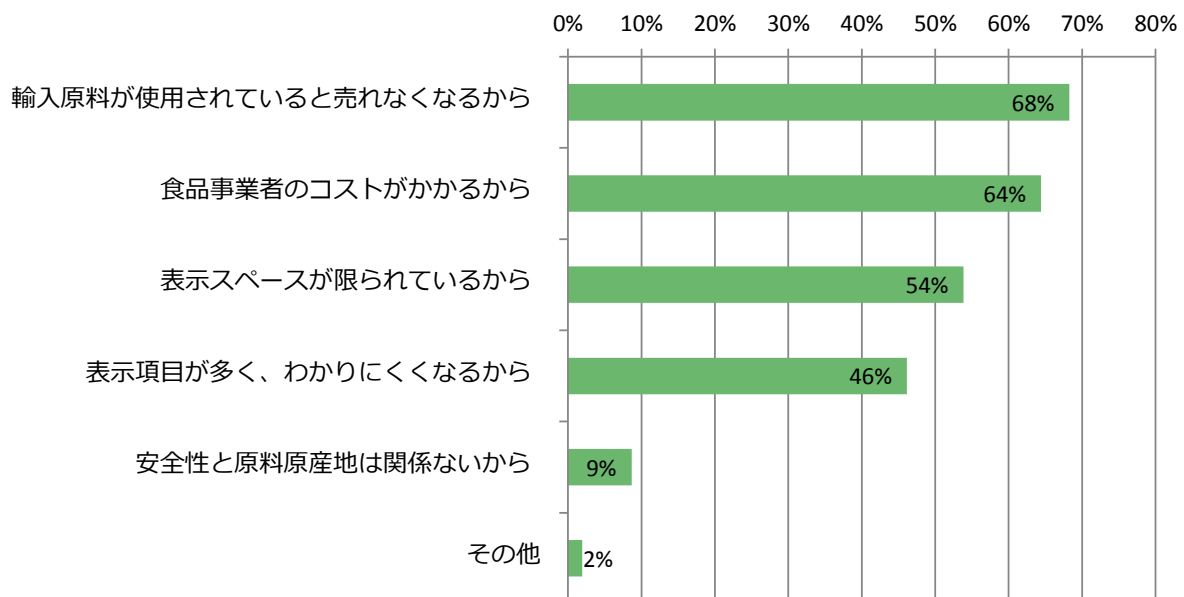
◆問 7 あなたは、惣菜や弁当を購入するときに、表示されている情報（価格以外）を確認していますか。

「いつもしっかり確認する」42%、「ときどき確認する」51%、「ほとんど確認していない」が7%と、確認する人が93%でした。原産地などの表示義務はないので、主に原材料や消費期限を確認していると思われます。

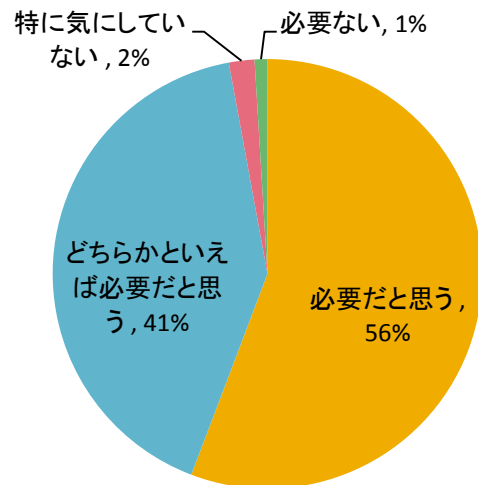


◆問 8 あなたは、全農や生協グループが政府に強く要請しているにもかかわらず、原料原産地表示がすすまない理由は何故だと思いますか（複数回答）。

「輸入原料が使用されていると売れなくなるから」が一番多く68%、次いで「食品事業者のコストがかかるから」64%、「表示スペースが限られているから」54%、「表示項目が多く、わかりにくくなるから」46%、「安全性と原料原産地は関係ないから」8.7%という回答でした。回答者らは国産品を意識して購入しており（問1より）、輸入原料が使用されていると売れないという回答が多くなったと思われます。



- ◆問 9 あなたは、加工食品や惣菜・弁当に原料原産地表示が必要だと思いますか。
「必要だと思う」が 56%、「どちらかといえば必要だと思う」が 41%と、必要だと思う人が 97%を超えています。「特に気にしていない」2%、「必要ない」は 1%という結果でした。



以上